

Excellent Prize 優秀賞



06 家具・インテリア

増田桐箱店の kirihacoプロジェクト

C/株式会社 増田桐箱店
D/トライシク

桐箱の持つ調湿性や防虫性、そして軽量性という特性を生かした米櫃や本棚の商品。古賀市の特産品である桐箱の製作で創業85年という老舗の会社である。噛み合わせには密閉性の高い「四方棧」という技術、また小口が表に出ない留め角度45度の角組など、随所に伝統技術を取り入れながら、並べたり重ねて置いても美しく、実用的にも現代生活に合うモジュール化されたデザインが特徴である。これまでも幾度かデザインアワードにチャレンジしてこられたが、今回のKirihacoは伝統的な魅力を伝承しつつも、暮らしに溶け込む最新のデザインとして完成したことが、高い評価を獲得した。これからの商品展開にも大きく期待をしている。(講評/松下 美紀)

Excellent Prize 優秀賞



07 産業・商業機器

マイクロバブルシャワー 「ピュアブルプロ」

C/株式会社 オーラテック
D/白 西道郎

マイクロバブルを用いた美容室向け業務用シャワーである。水の噴出口配置を工夫し、外周の噴流が中心に向けたウォーターカーテンにすることで水の飛散を防止しており、マイクロバブルによる高い洗浄効果やマッサージ効果、40%の節水効果があり、美容室で高く評価されている。外観デザインは大変すっきりしており、プラスチック成型時のバリやゲート跡の対策も成され、プラスチック成型や塗装、組み立て、パッケージ化などは県内企業で実施されており、県内産業振興効果がある。また、メンテナンス時の分解、洗浄、組立なども非常にシンプルな機構となっており、機能およびデザインの高さを実証した大変優れた商品であることが高く評価された。(講評/神谷 昌秀)

Guest examination committee Prize ゲスト審査委員賞



08 食品

「茶柱縁起茶」シリーズ

C/有限会社 アルゴプラン 縁起茶本舗

今回ゲスト審査委員賞を選出する際のポイントとして、日本だけではなく海外、中でも私が活動の拠点としている中国において事業化が可能かどうかの視点から選ぶことにしました。中国のマーケットの特徴として①プレゼント需要が高い②縁起物への関心③健康志向の富裕層が多い④日本製品への高い信頼などがあげられます。以上の4点を見事にクリアした商品が今回私のほうで選出致しました「茶柱縁起茶シリーズ」です。昔から日本で 言い伝えられた「茶柱が立つと縁起がいい」という題材は、そのシンプルな内容が逆に人の心を惹きつけ和ませる魅力を秘めています。また、粉末緑茶を独自のプロセスで茶柱に仕立てたアイデアは見事であり、価格設定も高すぎず安すぎず礼品として適切と思います。中国市場で成功するポイントとして超豪華なパッケージに入れて販売することがあげられます。微信で発信すればお金をかけずに大ヒットさせることができます。今後の当該事業の御発展を期待しております。(講評/古賀 宣行)

Special Category Prize 特別部門賞



09 特別部門

金属王プロジェクト

C/株式会社 三松
D/デザイン特区LLP
茂村巨利デザイン事務所
NEXT_DESIGN
三松アイデアコンペティション etc

金属加工メーカーとして素材特性を活かしたデザインにより、新しい金属のカタチの探求、ひいては商品の持つ市場性を考慮して、企画から販売までの一連のプロセスを地域のデザイナーとの共同作業により、商品化し、一般に受け入れられていることが評価された。デザインユニットとの共同プロジェクトや、定期的なコンペによる商品アイデア募集といった永続的で多様なデザイン活用による商品開発の可能性が最大の特徴となっている。(講評/清須美 匡洋)

Design Prize 入賞



10 生活環境

Q-big

C/株式会社 みらいDeやさい
D/TECHNOLOGY 山見 達也

都会の住宅の中にある空きスペースを農地にしておもうという意欲的な商品。省スペースでも野菜が育てられる機構とともに、育てた野菜を買い取る仕組みを作ろうとしている点も高く評価された。単なる水耕栽培プランターの販売ではなく、今まであり得なかった場所を農業に活用するという新しいコンセプトをもう一步推し進めることで、新たなビジネスが生まれることが期待される。(講評/中村 俊介)



11 生活環境

カワラブロックキューブ

C/新井商事

廃材となっている瓦を粉碎・再成形し、廃棄する量を減らしながら、瓦の再利用を促すことで、瓦職人の持つ技術を絶やすことなく受け継ぎ、結果的に地域の産業を守り、活かし、発展させている。素材の特性を生かし、最大限に風化が抑えられることで、10年以上使用し続けられるという新しいスペックを可能にし、エクステリアからインテリアまで幅広い市場を持つ商品に仕上がっている。(講評/清須美 匡洋)



12 生活環境

龍宮の遣い1000

C/コヨウ 株式会社
D/なかにわデザインオフィス

自然界の浄化作用を再現した水質浄化資材。効果も実証されており、既にユーザーからの評価も高い商品。デザイン面でも、テトラ型のパッケージにしたり色を統一したり等工夫が見られ、好感が持てる。惜しむらくは商品名から効果や良さが伝わりにくいことで、わかりやすいタグライン(キャッチフレーズ)を付ける等の工夫をすることによって一気に市場が広がる可能性を秘めている。(講評/中村 俊介)



13 生活環境

kila clean

C/株式会社 マスクフジロー
D/SHIROKURO 加藤 真弓

靴の消臭剤・脱臭剤が単なる日常消耗品として、使い捨てられていることに対して、継続的な日常利用と、容易なメンテナンス、さらにはカラフルで誰でも使用してみたいと思わせる商品力のある製品。独自技術をベースに、商品開発の初期段階から様々なかたちでデザインを取り入れており、最終的なカラーやフォルムのディテールにおいても完成度が高く、今後の市場拡大が期待できる。(講評/清須美 匡洋)



14 食品

まるやかしょうゆ

C/アサヒ醸造 株式会社
D/九州造形短期大学 醤油プロジェクトチーム
代表 浦井 葉留香

「旨味」と「甘味」を麹の力だけを使って作り出した、産学官連携による新しい醤油。こだわりある米麹と大豆麹で作った低塩の醤油であることを、優しいネーミングとアイキャッチでわかりやすくシンボル化した商品。決して奇をてらわず、デザインをシンプルに簡素化することで中身の良さが引き立ち、高級感ある佇まいを醸し出している。シリーズ展開としてのバリエーションに期待。(講評/石田 文明)



15 食品

手ちぎり海苔の浅炊き

C/江の浦海苔本舗
D/イチマルデザイン 市丸 美波子

パッケージに昔懐かしい新聞紙でくんだような小包をイメージ、暖かな手書きのイラストで商品の手間ひまかけた様子がシンプルに表現されている。こだわった手作り感を上手く商品として表現することで、商品に対する愛情がきちんとネーミングからパッケージまで反映されており、シズル感ある商品として好感を感じる。地方色を出しながらもセンス良くまとめたデザイン力が素晴らしい。(講評/石田 文明)

Design Prize 入賞



16 食品

八女和紅茶スパークリング

C/古賀茶業 株式会社
D/Ambi design 内田 あや
ai design innovation(ブランド監修)

明治時代から研究が重ねられ、良質な国産紅茶として親しまれてきた、八女和紅茶をスパークリングサイダーで仕上げることで繊細な味わいと香りが再現されています。パッケージも高級感あるデザインに仕上がっており、八女和紅茶のイメージを伝えていきます。スリムなボトルとスクリュエキャップが採用されているため、飲むシーンもひろがり、より身近に楽しめる工夫がされています。(講評/米山 安浩)



17 食品

朝倉産真空パック無洗米ギフトシリーズ

C/有限会社 ほのほの
D/井上総合印刷 株式会社 井上 憲一郎

福岡県の米どころ朝倉産の「夢つくし」「元気つくし」「ヒノヒカリ」「にこまる」の4種類のお米を、ギフトとして真空パックされた無洗米。お米をギフトとして福岡の味を届けるという、自然志向で食へのこだわりのマーケットを的確に掴んで開発された商品開発だと感じた。真空パックされたキューブ型の形状に黒と金色があらわれたパッケージは、お米の色を巧く引き立てています。(講評/かねこ しんぞう)



18 食品

福招くしょうゆセット

C/有限会社 タケシゲ

博多で150年以上の歴史をもつ、業務用しょうゆをご家庭の食卓で使用しやすいように小型容器に詰めたとこ、さらに、それぞれのボトルとセット組みのギフトパッケージに楽しいデザインを採用しているところが好評でした。セット箱のサイズと価格設定も購入しやすく配慮されています。一見、雑貨品のように見えますが、中身は、歴史ある業務用しょうゆ、ギフト需要がみ込まれます。(講評/米山 安浩)



19 食品

ウメ山ウメ子

C/立花町農産物等直売所利用組合 たはなウメメ団
D/ウフラボ 平野 由記

梅は身体にとっていろいろな薬用効果をもたらす日本で古くから伝わる健康食品である。梅の産地の立花町が取り組んだ今回の商品開発「ウメ山ウメ子」は、ネーミングの奇抜さもさることながら、何処でも気軽に食べることが出来る「梅菓子」として作られ、それを象徴するキャラクターデザインとブランド名称が可愛くレイアウトされているパッケージデザイン。新食材の可能性に評価を得た。(講評/かねこ しんぞう)



20 食品

プレミアムうきはの山茶 GFT5-2

C/株式会社 新川製茶
D/なかにわデザインオフィス

新川製茶は、有機栽培歴40年の安心安全なメーカーとしての自負がある。近年「九州ちくご元気計画」に参加し、更なる味の追求と、急須で嗜むお茶に馴染みの薄い若い世代にその魅力を広めたい強い思いや、ギフトとしての差別化を意図し、パッケージデザインに拘った本品が誕生した。昔は薬として珍重されたお茶は、今またその健康効果が見直されている。期待するところ大である。(講評/大庭 香代子)



21 食品

八女茶 許斐久吉六代目シリーズ

C/有限会社 このみ園
D/株式会社 カジグラ 梶原 道生

創業三百年、老舗の八女茶を手軽に楽しめるティーバッグ。八女和紙に敷き炭火で煎られた茶葉は、ティーバッグとは信じられない豊かな香りと味わいでした。家伝の唐草模様パッケージは、シンプルで女性的なデザインがマストレンドとなった今日において、濃厚なインパクトを感じます。1バッグ当り60~120円。デスクに常備し、毎日幸せなブレイクを楽しみたいと思わせる逸品です。(講評/田中 善哉)

Design Prize 入賞



22 食品

ブランディング

C/株式会社 とり祥
D/ミカドヤ 家永 啓介、家永 美和子

老舗のブランドを、デザイン力で生まれ変わらせ、見た目だけでなく売り上げもアップさせることに成功した、まさにデザインワークの王道としての成功事例。オーナーの思いを引き出し、変えるところと守るところを取捨選択してデザインされたロゴやパッケージは、新しくも伝統を感じさせるものとなっている。デザインによって社員のモチベーションまで上がったという点もすばらしい。(講評/中村 俊介)



23 繊維・日用品

TUGU.の商品群

C/有限会社 坂田織物
D/mao graphics 黒瀬 美紀子

絹の産地、久留米地方ならではの開発商品。絹の制作工程で残ってしまう残糸に着目。一本一本つなぎ風合い豊かな織物を作り上げた後、日傘やシャツに仕上げました。特に注目すべきは男物の日傘。これから需要の高まりそうな男物に焦点を定めシンプルかつ素材のこだわりを表現したデザインに仕上がっています。糸を繋ぐ、次世代につながるを表したTUGUというブランドネームも素晴らしい。(講評/大倉 紀子)



24 繊維・日用品

(宮)綿入れはんてん 夜空

C/宮田織物 株式会社

宮田織物は、織から縫製まで一貫した生産体制のメーカー。今回の受賞作はこの特徴を良く表す力作だ。社内デザイナーが提案した、冬の夜空のような半纏を作りたいという希望を、織技術担当者が通常使用する8倍の長さの紋紙を使って実現。縞模様もよろけ縞と呼ばれる微妙に変化する柄を使いレベルの高い作品に仕上がった。中綿も綿100%にこだわり着心地も素晴らしい。(講評/大倉 紀子)



25 繊維・日用品

ベビーキュピカ!

C/株式会社 アリーナ
D/トライシク

一人っ子世帯がふえ、赤ちゃんの世話に不安を抱く親が増えている。この受賞作は赤ちゃん専用の爪切り用ヤスリです。赤ちゃんの爪をハサミや爪切りで切るのが怖いという新米パパ、ママのニーズを拾って開発されました。ヤスリの表と裏で粗さを変え新生児の柔らかな爪にも2~3歳のしっかりした爪にも対応。口にいれても安心な素材を選ぶなど細やかな配慮に溢れたアイデア商品です。(講評/大倉 紀子)



26 繊維・日用品

木匠

C/株式会社 イマムラ・スマイル・コーポレーション

薄板を独自の技術で加工した、円形の蓋付きの容器と折りたたみ蓋付きの容器。杉の風合いを生かしながら、軽量でいろいろなデザイン、形状、サイズ加工が可能で、食品やお菓子の容器、お弁当箱、またプレゼントのギフトBOXや、連結して収納ケース等々、様々な用途が考えられます。木製容器としての可能性の広がりや、間伐材も使った環境にも優しい商品であることが評価されました。(講評/矢倉 眞司)



27 繊維・日用品

お骨壺ポーンポット 桜・百合

C/英一郎製磁
D/矢野由紀子デザイン事務所 矢野 由紀子

高齢化社会を迎え、社会的な需要の変化に対応する新規分野の事業モデルとして、個人個人の人生を象徴する「お骨壺」を取り上げた提案です。磁器彫刻作家の英一郎氏がプロデュースしたお骨壺で、祭壇への飾り方も、お骨壺そのものを見せる形状や置き方を提案しつつ、葬儀という厳粛かつ神聖な場での表現の主張と抑制のバランスに配慮されており、今後の市場拡大が期待できます。(講評/矢倉 眞司)

Design Prize 入賞



28 繊維・日用品

HJ accessory by 博多織

C/株式会社 鶴海織物工場
D/小柳 左和

博多織という伝統技術を利用した商品開発が多数ある中で、時代の感覚にマッチした成功事例である。和装小物の範疇から飛び出し、個性的な大人のおしゃれを楽しむ趣味人向けのアクセサリに展開した点が、他社との差別化を生んでいる。展示においても、赤を基調にしたインパクトのあるプレゼンテーションで伝統的な柄をさらに魅力的に見せ、人の目を引く演出である。(講評/重松 依子)



29 繊維・日用品

KONOITO

C/株式会社 KONOITO
D/mao graphics 黒瀬 美紀子

KONOITOシリーズの魅力は、まず徹底して生成りの色にこだわった点にある。妊婦や乳幼児を持つ親にとって絶対的安心感を訴えかける力のある色だ。思わず手に取ってみたいくなる柔らかな素材感がシリーズ全体を統一した世界をつくり出している。ロゴタイプからラベル帯、個包装にいたる包装材アイテムも商品のイメージを邪魔せず小気味よく商品に寄り添う形でデザインされている。(講評/重松 依子)



30 繊維・日用品

HAKATA WAPPA

C/D/2064 HAKATA PRODUCTS
D/助太刀デザイン 小林 大助

福岡の伝統工芸である博多曲物の特長を活かし、「ご飯がおいしい」をコミュニケーションできる器を造形のポイントに、わっぱの定番の楕円形をお米の形に変えるシンプルな方法で訴求点を明確にしている。伝統工芸士とデザイナーのコラボレートで開発された商品は、丁寧な仕上がりの上質感と付属する仕切り板がしゃもじに利用できるなど、生活者が使ってみたくと思わせるものになっている。(講評/青木 幹太)

Design Prize 入賞



34 繊維・日用品

カフェボウル カフェまる ～日本のひつじシリーズ

C/一般社団法人 日本羊毛フェルト協会 woollies
D/La:mmin 井口 喜実

はかなげにも見えるほど洗練された白磁の器に、暖かげで懐っこさを感じさせる生成りの羊毛フェルト。このバランスは多くの人に受け入れられる包容力のある構成です。この羊毛は食肉となっていてこれまで活用されることのなかった出所のわかる羊の毛を活用したものです。あたらしく価値化された新たな商品とビジネスモデルはやさしいおもしろい高い技術と命の尊厳から成り立っています。(講評/尾方 義人)



35 繊維・日用品

使い捨てないアイススプーン

C/前原工房

見た瞬間「アイス」のスプーンをイメージした人がほとんどだろう。お店でもらう使い捨てのアイスクリームスプーンのシルエットをモチーフにしたとのことで合点がいく。口当たりを意識して各部位の厚みを変え、研磨にこだわり、耐水加工を施し繰り返し使えるのが嬉しい。馴染みある「デザイン」を大切にしながら、細部に変化をつけ新たな「デザイン」に仕上げた実にフィット感のある商品。(講評/津岡 卓央)



36 繊維・日用品

守～七変化

C/菓子
D/Akoya 原口 亜紀子

抱っこは、子どもの一生の中でも、親の一生の中でも、大切なコミュニケーション。そんな気持ちから生まれたものです。でも、お母さんはとても大変。ほんとうに大変です。大変さを悲しむわけではありません、楽しく「抱っこ」をしたいのです。そんなお母さんとお父さんの生活の中から生まれた守～七変化には、子どもの成長や家族や環境の変化にも対応でき、あらゆる暮らしをうけとめます。(講評/尾方 義人)



37 家具・インテリア

ミラクルデザインブーケ® 福岡市カワイイ区とのコラボモデル

C/フラワークリエーション

ラッピングのまま飾れて、フラワーアレンジより日持ちする花束です。特別な用具を用いずに花束を長持ちさせる独自の製法(特許取得済)を考案、水替え不要で器に活け直す手間をかけずに飾れ、ゴミも最小限で後片付けも簡単、宅配も可能など、これまでの花束の弱点を克服した独自の技術面と新たなフラワービジネスの可能性を提供したソフトデザインが評価されました。(講評/森田 昌嗣)



38 家具・インテリア

Pet Plus(ペットプラス)

C/株式会社 寶章堂

飲料ペットボトルの再利用を考慮したECO視点での作品です。巻きつけるだけで瞬時に和モダンな一輪挿しができ、一般家庭・飲食店・ショップなど幅広い空間での使用が見込まれます。簡易なつくりに見えて、材料は大川で加工された銘木のつき板を使用。独自の加工技術で樹木の素材感を残したまま曲げ伸ばしができ耐水加工も施されており、機能的な一面も高く評価されました。(講評/岩崎 充子)



39 家具・インテリア

風～Fuu～

C/有限会社 フィーノ
D/株式会社 Cocoon 権藤 雅大

日本の古来よりの「伝統美」・「技術」・また職人のきめ細やかな心配りをも感じられる作品。桜を使い、見る角度によって様々な表情を見せる格子戸は、その名のとおり「風」をイメージさせてくれます。幅広い用途で、現代のライフスタイルにも適合。今後は国内はもとより海外へ向けて、優れた木工技術を有する大川家具業界から、新たな市場ニーズを呼び起こす可能性も期待できます。(講評/岩崎 充子)

Design Prize 入賞



40 家具・インテリア

drops

C/株式会社 マイサ

アセテートシートを主材料としたマテリアルで、絶妙な色彩が透き通るように発色し、形、パターンそして照明との組合せで様々な加工に対応できる商品。名前が表すように、その素材感が甘い飴玉、もしくは雨だれのような有機性を感じさせる。また柔らかな手触りと模様的美しさには目を奪われる。単体の商品のみならず、インテリアの装飾品としてなどデザインの可能性を秘めている。(講評/松下 美紀)



41 家具・インテリア

畳むんデス

C/有限会社 ヨコタウッドワーク

簡単に折りたたみができるようデザインされた机で、膨大なトライアル&エラーを繰り返したことが窺える機能的な家具。折りたたまれた時の佇まいがシンプルでインテリアを損ねない。使いやすさが追求され、機能が研ぎ澄まされている。大川のしっかりとした造りも心地よさにつながっている。狭いマンションで暮らす人の生活を見つめることでニーズをしっかりと捉えている点が優れている。(講評/中島 浩二)



42 家具・インテリア

me-mori roll

C/Have some fun!
D/CRITIBA in F CAST 坂下 和長

木製身長計「me-mori」が無垢の一枚板のため引越の際などに運搬が困難であるとの声に答え、よりカジュアルに使えるように工夫されている。身長を測り柱に傷をつけるというとても温かい、大切にしたいコミュニケーションがデザインされている。デザインが人をしあわせにする創造的な活動であることを象徴しており、多くの人を優しい気持ちにできるものである点が高く評価される。(講評/中島 浩二)



43 産業・商業機器

真空管ハイブリッドアンプ 「old mini」

C/株式会社 デザインプログラム
D/株式会社イーケイジャパン 藤田 芳雄

オーディオソースが多様化・デジタル化された音源を、真空管の素晴らしい音質で手軽に楽しめるハイブリッドタイプの真空管アンプである。造形的には、丸みを帯びたアルミ鋳造製のボディで懐かしさと暖かみを感じさせるデザインが高い支持を得た。一方、多数のケーブル類の接続を必要とするので、ケーブル類をスマートに処理する為のアンプスタンド等の開発を、願いたい。(講評/大歯 滋喜)



44 産業・商業機器

LEDORNA 「COUNT 24H」

C/株式会社 ロクリア

LEDを用いてカウントダウンとカウントアップ表示ができる軽量・低コストフィルム。スポーツイベントや看板などのサインとして、ウィンドウやポスターへの貼り付け・埋め込みが可能で、多種多様な利用ができる。軽い、薄い、曲がる、巻けるといった特徴と従来品に比べて、コストが1/10、重量が1/100以下を実現しており、大変ユニークな商品となっていることが高く評価された。(講評/神谷 昌秀)



45 産業・商業機器

Earscooter

C/アーステクニカ
D/西日本工業大学 中島 浩二

新聞販売店や外回り営業、宅配ビジネス向けのビジネス専用電動バイクである。後輪をインホイールモーター化し、リチウムイオンバッテリーで駆動することで、住宅街を早朝、深夜でも静かに走行できる。また、ビジネスユース向けに、大型のキャリアやタイヤを採用すると共に、低重心化することで取り回しを向上させたバイクとなっていることが評価でき、今後の市場拡大が期待できる。(講評/神谷 昌秀)